

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

通年議会 第6・7・8・9回会議

令和元年度一般会計補正予算…………… 3～4 P
一般質問に14人が登壇…………… 6～19 P
常任委員会 及び 特別委員会報告 …… 20～22 P
一部事務組合報告 …………… 22～23 P
特集号 第6回中学生一日議会 (別冊)





議長 あいさつ

新年明けましておめでとうございます。議会を代表致しましてご挨拶申し上げます。昨年は、平成天皇のご退位・新天皇のご即位それに伴う新元号の制定と記念すべき年でした。一方で台風・大雨による被害が相次ぎ、日本が災害列島である事を痛感させられた年でもあり堤防など河川の整備に加えて町民一人ひとりが、日頃からの防災意識を高める事が重要だと認識した次第です。本町も合併して十七年目を迎え町民各位の絆も深まってきているように感じますが、少子高齢化・人口減少といった課題が進みつつあり、町としても議会としても課題解決に向けて知恵を出し合いながら取り組んでいる所です。今年は東京オリンピックが開催されます。昭和三十九年に開催されたオリンピックが戦後復興のシンボルとして国民に勇気と感動を与えた様に、今回のオリンピックも災害からの復旧・復興に立ち向かう国民に元気を与える祭典になればと期待します。今年が災害に見舞われる事なく町民各位が幸せを実感できる年になりますようご祈念申し上げご挨拶と致します。

令和二年一月吉日

あさぎり町議会議長 徳永 正道

第6回会議

10月11日

補正予算1億2,242万5千円追加

(主なもの) ○公民館建設工事監理委託料、工事請負費 1億1,370万円
○災害復旧費 520万円

第7回会議

11月8日

補正予算734万3千円追加

(主なもの) ○農地等災害復旧工事請負費 540万円
○有機センター工事 監理委託料 194万3千円

第8回会議

12月定例 12月10日～13日

補正予算6,973万2千円追加

(主なもの) ○県知事選挙費、給与改定に伴う人件費 2,195万4千円

令和2年度、業務の準備行為を実施するため、36業務の債務負担行為を追加するもの。

○ふるさと寄付金 3,000万円追加
○地方バス運行等、特別対策補助金不足分 376万8千円

第9回会議

令和2年1月6日

補正予算9,466万6千円追加

総額 109億4,249万7千円

(主なもの) ○ふるさと基金積立金 5,000万円
○ふるさと寄付対策費 3,346万6千円
○救護施設 しらがね寮 法面復旧工事請負費 1,120万円

令和元年度第7・8回会議 表決一覧（抜粋）

議案	氏名	岩本	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	溝口	久保田
今井公民分館新築工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永才公民分館新築工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町小・中学校パソコン教室端末の買入れ契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町有機センターの指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町深田農産物処理加工施設の指定管理者の指定の取消しについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

審議内容の抜粋

問 今の、公共施設等の総合管理計画の進捗状況は

答 現在、町有の施設については、劣化度調査を行っている。規模の大きい施設については専門コンサルタントにお願いして劣化度を調査しており、それほど規模が大きくない町有施設については、担当職員で行い、おおむね終り、今、集計作業に入っているところである。



公共施設等総合管理計画で今後の利活用もしくは廃止が検討される旧東庁舎

問 明日、明後日、災害が起きるかわからない状況の中で、必要なものは揃えてあるのか。少なくとも電話回線であったり、モニターだったりというのは必要最小限ではないか

答 地震災害はいつ起きるかわからない。自衛官で地域防災マネージャーという資格を持った方を町に招いて、具体的な計画プラン、タイムスケジュールを作っていきたいと考えている。

問 あさぎり町深田農産物処理加工施設の利用については、まず、地元で話し利用できないか

答 利用できるかどうか確認したい。利用者が出なかった場合、町内に広げて募集したい。



新たな指定管理者を静かに待つ深田農産物処理加工施設

問 救護施設の臨時職員の介護員の位置づけを、専門職として取り扱うべきではないか

答 一般職は研修を受けて技術や知識を深めており、自主的に資格を取得して対応しているのが現状である。今後の取り扱いについては、もう少し時間をかけて検討してみたい。

条例の制定及び改正

抜粋

**1. あさぎり町会計年度任用職員の給与等に関する
条例の制定について**

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与等に関し、必要な事項を定めるもの。(一般職の非常勤が会計年度任用職員に移行するものの雇用形態はすべてパートタイム勤務(週勤務時間30時間以内)。主なものとして期末手当の支給等の実施。)

**2. 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う
関係条例の整備等に関する条例の制定について**

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、関係条例(12本)の一部を改正するもの

**3. 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関
係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関す
る条例の制定について**

成年被後見人等の権利の制限の適正化等を図るための関係法律の改正に伴い、関係条例(8本)の一部を改正するもの

**4. あさぎり町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する
条例の制定について**

令和元年8月7日の人事院勧告等を踏まえた給与改定をするため条例の一部を改正するもの。(行政職給料表水準の引上げ、大卒程度初任給を1500円、高卒程度初任給を2,000円引上げ、30歳代半ばまでの職員が在職する号俸について平均0.1%改定。)

5. あさぎり町下水道条例等の一部を改正する等の条例の制定について

あさぎり町下水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴い、関係条例の一部を改正(7本)、廃止(1本)するもの

**6. 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の
一部変更について**

一部事務組合の共同処理する事務を変更し、規約を変更しようとするときは、地方自治法第290条の規定により議会の議決を経る必要がある。(令和2年4月1日より熊本県後期高齢者医療広域連合が加入するため)

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問します。

一般質問



難波 文美 議員
Namba Ayami

デマンド交通の利便性は



いても考慮していく。

問 高齢ドライバーによる交通事故多発の中、全国的に高まりを見せる免許返納制度であるが町内の返納者の把握は。また10月から開始したデマンド交通の利用登録者は11月末で516名となっているが利用状況や課題は。

問 降車場所として公立病院を含めた病院関係を増やすことはできないか。

町長 岡原地区の住民は生活圏が多良木町に及ぶので公共交通会議の中で提案し理解を求めている。

問 児童生徒の登下校時間に限り高齢者の運転自粛の取り組みはできないか。

高松課長 老人クラブに働きかけ協力要請を行った。

住民参加イベントの在り方は

問 地域住民が参加する球技大会などのスポーツイベントは、少子化や高齢化に伴い競技の棄権や参加そのものが困難になっている。選手集めなど実質的な役割を果たす各地区の体育部長へアンケート調査などを行っているのか。

教育課長 駅伝大会については特に参加地区が減っており見直しの時期だと考える。アンケートは採っていないが体育協会各支部の会議において意見聴取を行い、改善を加えながら今後も継続させていきたい。

問 商工観光課の婚活イベントの取り組みは。

商工観光課長 平成22年度の合同コンパ型から実施し現在の体験型イベントや1対1のお見合い形式にするなど時代に合わせた出会の提供、自分磨きの

一助となる様々な取り組みを進めている。

問 全てのイベントにおいてアンケート調査を行い参加者の意向を重視することで偏りのない建設的回答が得られる。『声なき声』を拾い上げて町政に反映させるべきでは。

町長 地域により温度差はあるが総合的な視点で取り組んでいきたい。

豪雨災害後の河川河道の強靱化は

問 日本各地はもとより町内にも多くの自然災害があった。道路補修整備、内水路の改修など住民の生命と財産を守るための河川河道工事の計画や見通しと上北地区が被った過去の被害とその後の対策は。

副町長 上村時代に大雨が降り積載車で土嚢対策に向かったが堤防と

百太郎溝の水が一体化し立ち往生した事がある。その場所の道路状況は現在も当時のままである。
建設課長 柳別府岡原線の越水に対しては現状復旧のため大型土嚢で応急対応をしガードレールの設置、防草工事を計画的に行っているが再度溢水発生への対策はとれていない。

問 治山治水事業は途中中断すると脆弱箇所となり新たな被害が起る。早急な対策が必要では。

町長 基本的な改修工事は国や県と連携し農業用水路である百太郎溝と幸野溝の災害対策は来年の主軸事業に入れて改善策に取り組んでいく。



応急措置の二段土嚢を施されている河道

一般質問14人が登壇

防災・減災

(河川管理等)対策は



豊永 喜一 議員
Toyonaga Kiichi



問

地球温暖化に伴い、異常気象による台風・豪雨等災害が全国各地で相次ぎ、多大な被害をもたらしている。

この現象は、いづこでも起きうる可能性があり、あさぎり町にとっても対策は重要な課題である。河川整備等については、国・県・町管理と区分されているが、近年、経年劣化による損傷等が目立ち、豪雨時等での災害が危惧される。国・県との連携、今後の対策は。

町長

全国の台風災害等と積極的に予算をつけて、国土強靱化、災害の復旧復興に向けて予算を取り組んでもらっている。その成果で、球磨川は国の管轄、井口川・免田川等は県の管轄、伊賀川等は町の管轄になっている。そういう区分の中で、国から県の方に予算がいつて、免田川、井口川の河川管理がなされていく。国・県も積極的な動きが出て来ており、町として

も積極的に要望しながら、なおかつ町の管理の部分もしっかりと被害状況を見たり、災害状況を把握しながら対策を考えている。

問

地域防災計画に基づく、ハザードマップの作成は出来ているのか。

総務課長

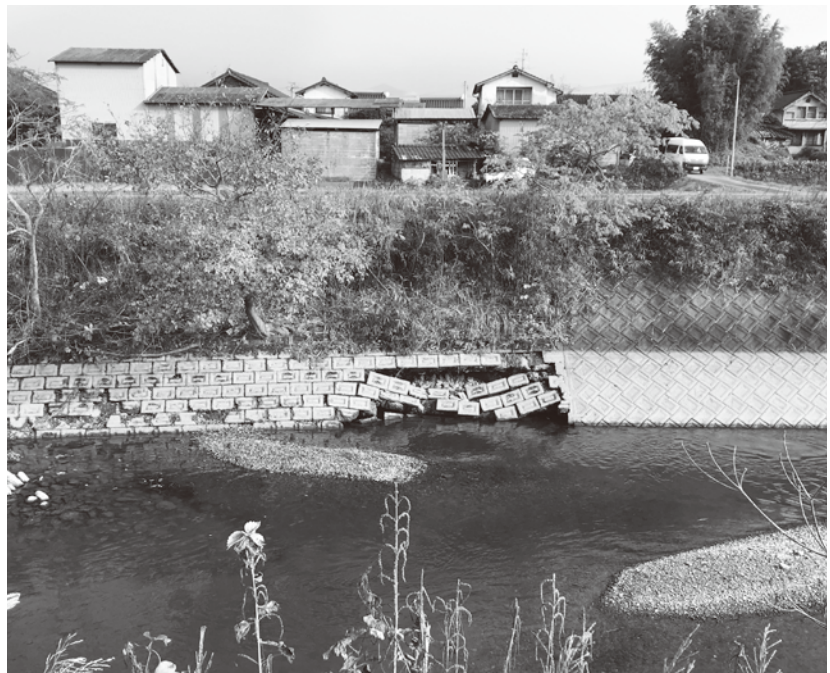
平成27年度作成で、既に4年経過している。その間、最大想定浸水区域や土砂災害警戒区域についても、調査によって指定がなされているが、現在のハザードマップには網羅していない。各世帯に配布するハザードマップに載っていないのは課題であり、町では新しくハザードマップを来年更新することで計画している。その中で、今まで変更があった点、来年度調査をする分、公表される指定時期を精査しながら進めていく。

問

百太郎溝で越水被害があっているが、鍋塚放水門から井口川へ最終的に放流される。豪雨時には井口川も越水状態となるが、井口川近辺に旧河川があるが、これを調整池等に有効活用出来ないか。

町長

関係課と現地へ出し、遊水池として活用出来るよう前向きに取り組む。



護岸ブロックの損傷等(井口川)



橋本 誠 議員
Hashimoto Makoto



通学路の

安全安心対策は

問

最近町内では交通事故が多発している。

登校時に発生し幸い命に関わる事故ではなかったが、一歩間違えば重大事故につながる。事故は誰にも起こりうる。加害者、被害者も双方が不幸になる。今後の対策と子供たちを見守る取り組みは。

長教育

子供達に横断歩道の渡り方の指導を徹底したい。職員に歩行者優先を強調して指導したい。

問

運転手は、自転車の存在を相手に気づく様、

濃霧や暗く、見えにくい時に、早期の点灯をしているか。職員・町民に対しての周知は。

課長総務

職員には、交通マナー・ルールの遵守を徹底させる。交通安全週間はもとより、年間を通じて交通安全対策を、交通指導員を通じて啓発したい。

問

定期的な広報・周知の必要性。通学路の危険力所を把握した上での

対応は。

課長総務

年間を通じて指導員を介しての啓発活動。各校区（地域・保護者・指導員）で登下校の見守りに毎年、危険箇所点検を行い優先度を決め整備を行っている。啓発周知は重要だ。

町長

児童の通学路には危険箇所がたくさんあると認識している。219号線の歩道整備は、犬童医院の所から元桑原医院の所



国道219号線の児童の通学状況

まで要望している。県道皆越免田線（今井地区）の所

も小学生が登校している。地域住民の方と協議し、必要であれば歩道整備をして行きたい。

問

ソフト面では見守り隊、歩道整備の必要性。中学校統合（平成20年12月議会）で2校論があったが1校論で、当時の愛甲町長が決断された。通学路整備が1番の課題だった。歩道整備を県の要望の中に入れるべきだ。

町長

県道皆越免田線（今井）を県に対する要望の事項の中で一つ加えた。地域住民の署名をもつて要望しないとできない。一度動いてみたい。

問

県道皆越免田線から町道今井中学校線の歩道で未整備工事区間の計画は。

課長建設

皆越免田線（今井地区）の歩道整備を要望しており、改修が終わつ



県道皆越免田線の中学生の通学状況

その他の質問

南稜高校を含む県施設との町としての関わりは。

これからそれ以降に進めたい。用地交渉が必要だ。

これからの 農業の取組みに ついて



小出 高明 議員
Koide Takaki

問 あさぎり町においても農業者の高齢化、担い手不足など5年10年後になるとますます条件の悪い土地は耕作放棄地となり深刻な問題となるが。

町長 大きな問題を抱える中で、農業関係者には一生懸命取り組みでもらっているが高齢化が進み農地を守っていく事が非常に困難になってくると思われる。

問 後継者のいないところでも町は、70代の人でも非常にやる気のある人が多くまだ規模拡大もしていきたいとの声も聞く。そういう人達から3年間続いた町の農業振興補助金は町全体の農業の底上げにも繋がりが本当に良かったという声を聞く。



3年続いた
農業振興補助金

町長 この制度によって農家が活性化し元気が出る。そういうものは今後とも方法が変わる事があつた

としても基本的には同じような制度を続けていきたいと考えている。

問 あさぎり町において耕作放棄地とみなす面積はどれ位あるか。

農業委員会 局長 遊休農地面積14・4haです。

問 山に隣接している所は森林を利用した放牧・山口県とか取り組んでいる所もあり、鳥獣害の侵入も防ぐというような事で地域の活性化にもなっているという。町も新規就農者や畜産放牧に関心のある若者に研修に行かせたりと必要ではないか。

町長 鳥獣被害もなくなるということは一石二鳥の効果があるわけだから先進地があれば研修しながら勉強していきたい。



太陽光発電所の 設置問題について



山林に隣接した太陽光発電所

問 心配なのはさまざま。な事業者が取り組みやすい訳だが途中で事業者の主体が変更される事も多いと聞く。変更後がもし外資系なら水資源に利用されたり外国人の住宅になったり契約後のパネル放棄等、私達の子や孫の世代に色々な問題を残さない為にも私は町としてもある程度のガイドラインとか危険な所のエリアは認めないとか今後の事も考えて必要になって

くるのではないか。

町長 無秩序に原野が切り開かれて太陽光が並びぶというのは地域住民の方にも不安であるし20年後ちゃんと原形に復されていくのか心配はしているが経済産業省の事業計画策定ガイドラインによって開設されている以上規制は難しいが、対策を講じられるのであれば検討したい。

その他の質問

上地区合併記念公園周辺の利用について



久保田 久男 議員
Kubota Hisao



町の産業活性化の

取り組みは

問

あさぎり町が元気になる為には、町の産業活性化なくして成し得ない。しかし、少子高齢化による担い手の確保等、諸課題を抱えているのが現状である。今後の取り組みについて問う。

町長

まずは現状を踏まえ、これを打開していくか。一次産業である農林業で高付価値を付けて、農協等との競合を避け、いかに販路を開拓していくか、

具体化に向け粉骨砕身頑張っていく。

問

農業において今後農家の減少は地域の衰退になりかねない。集落営農組合、大規模農家の法人化も、中小規模農家への手立ても必要ではないか。

町長

いずれも応援していくし、これから目指すところじゃないかと考える。

問

林業は重労働だというイメージがあるが、機械化された現状等、林業への関心を高めるためにも、かつて平成22年に開催された「木の博覧会」の復活は、

町長

PR不足でお客さんが、準備していく中で参加者、協力者が日々増えていったことが一番の成果であった。その延長線上で、今後

農と食と福のイベント等をやっていただくと考えている。

問

商工業、観光への取り組みは。

町長

今、商工業を取り巻く環境は厳しいが、イベント開催等は得意な分野ではないかと思う。イベント事業を通じて交流人口を深め、チャンスの芽を見つけて貰いたい。

問

郡市では7市町村で、観光協会が立ち上がっているが、本町は未だにない。交流人口を増やす為にも、その核となる観光協会は必要と考えるが。

町長

現在、人吉・球磨協会が立ち上がり、県・市町村・民間団体が一体となつて立ち上がっている。今後は、町のカラーを出した観光づくりを、人吉・球磨と一体となつてやっていく必要があると思う。



青年団が行うおかどめ幸福駅周辺整備「菜の花プロジェクト」



Morioka
Tutomu
森岡 勉 議員



地域福祉の推進の あるべき姿について

問

あさぎり町の「ひと・しごと・創生総合戦略」の事業展開においては、町の総合戦略のテーマは「健康と福祉」である。

国は、国民健康づくり運動として「健康日本21」を提唱した。背景として、急速な高齢化や生活習慣病の変化による、生活習慣病の増加に伴う医療費や、介護費用の増大が深刻化したことが原因と挙げられている。また、社会環境として経済状況の停滞による、格差が顕在化し、家族形態の変化、地域の繋がり希薄化などによる社会的要因が健康状態に差が出てきていると指摘されている。加えて、少子高齢化は確実に進行しており、健康な町を創る住民主役の推進と幸福な町を創る安心安全な施策は町づくりの喫緊の町として責務である。よって、次期の地域福祉の在り方については。

町長

本町においては、少子高齢化社会によって、福祉健康体力づくり、生活支援等二ツズが複雑多様化している。今後、将来を見据えた計画となるように見直しを行う必要があると認識をしている。

生活福祉課長

本町の保健福祉総合計画は、社会福祉法第107条に基づき策定をしている。次期計画は、条例に基づき41名の策定委員で策定にあたっており、今後は「地域共生社会の実現」への取り組みが福祉行政の大きな課題と考えるので、住民一人一人の暮らしと生きがいと地域とともに創り実現すること分野を超えた取組を目指したい。

問

高齢化などで地域を担う人材が減少するなかでの担い手の確保や、農村地域を支える多様な人々を地域に定着できる取組が必要ではないか。

農林振興課長

国の基本方針や基本計画において、担い手集約のみではなく、小規模農家や、都市部よりの関係人口の流入等計画が示されたらこれらに対応出来る支援策に取り組む。

自助

地域に住む
一人ひとりが
取り組む

共助

地域が力を
合わせて実現

地域福祉

人と人が
つながり・支えあう

公助

行政などによる
公的支援



▲第3次あさぎり町保健福祉総合計画より



岩本 恭典 議員
Iwamoto Yasunori



まち・ひと・しごと

創生総合戦略の達成率は

問

平成28年1月策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和元年度末で終了するが、その中で立てた数値目標と重要業績評価指標（KPI）は達成できそうか。

企画課長

基本目標の6つの項目の内、4つが目標達成、2つが達成できておらず、KPIについては取りまとめた中で、できるものとできないものがある。

問

創生事業対策本部を設置して、「推進会議の中で毎年度効果検証を行い必要に応じて改定を行う」としているが修正をおこなっているのか。

企画課長

KPIについては毎年度報告しているが、修正については取り組んでいる。

住民自治による百人委員会を作る考えはないか

問

自治体が生き残りを受け地域づくりを行う上で、進むべき姿として町長直轄で百人委員会を作る考えはないか。

町長

いろいろな人の意見を聞く会議や、懇親会、担当課と現場に向向いて、町民の本音の部分を知ろうとしている。百人委員会とはいかなくても必要性を認めた時はお願ひし、今の取り組みの延長線上に出てくると理解している。

問

町民の方々が町民の意思でまちづくりを行なう方向性も必要になってくると考えるが。

町長

自分たちで町の活性化、町の発展、経済振興の取り組みのため予算をつけ応援してもらいたいものがあれば十分検討していきたい。

駅前情報発信するスクリーンを設置する考えは

問

旧五差路の横断幕のかけかえの経費を考えた時、いろいろな情報を発信できるスクリーンを駅前設置したらどうか。町の行事・行方不明者の画像・学校行事（体育大会・文化祭・卒業式・入学式）・農林・商工業に関する情報の発信ができ、設置費用・メンテナンス料は、スポンサーを募って、会社・商品の宣伝、あるいは求人広告収入で賄うことも考えられるが。

町長

駅前整備計画の中で、町民に十分情報発信できると確認出来れば検討する。



旧五差路にある横断幕の風景

百人委員会とは

地域の一般住人が、政策の立案過程のみならず実行過程にまで参加する「住民参加」の新しい方式その特徴は、次のとおりである。

- ① 百人委員会の委員には、満18歳以上の町民か、町内の事業所で働いているならば、だれでも応募できる。
- ② 商工・観光・生活・環境・保健・福祉・医療・農林業、教育・文化など、行政のほぼ全域にわたる部会が設置されている。
- ③ 百人委員会で立案された政策は、民主的な取捨選択を経るが、なるべく多くの政策に対して「予算措置」されることが約束されている。
- ④ 百人委員会の委員は、政策立案にとどまらず、行政職員とともに政策の実行・実現にも当たる。

（インターネットより抜粋）



小見田 和行
Komita Kazuyuki
議員

農業水路と

農地の維持管理は



問

農業水路、農地は水路の開削維持管理に

身命を賭して尽くされてきた先人の徳であり、敬意を払うことは基より、それを継承する責務が今を生きる我々に課されている。このまま担い手不足を放置すると維持管理に混乱を来すことが危惧される。外部からの人材確保を促すには受け入れ組織の法人化は必須要件と思うが、かねてより推進されてきた集落営農組織の法人化の進捗状況は。

農林課長

法人化検討委員会でも協議してきたが、差し迫った状況でないと考える農家もおられ地域の将来像が描けていない。

問

農業支援センターの農業法人化で集落営

農をカバーし、法人のメリットを享受できる体制構築は。

農林課長

農業支援センターも少人数なので、農業サポートとか支援、あとは機械による高畔の草刈りを受けている状況で、まずは

集落営農組織の法人化に重きを置いている。将来は支援センターがバックアップする様な組織へと発展すべきとの考えも持っている。

問

排水路の草刈り管理を実施するにあたり、

法面の急傾斜地等の危険場所、脆弱力所の把握を行う考えは。

町長

草刈り、防災上、危険度の高いカ所は1回調査をすべきではないかと思う。

問

災害復及工事を行うにも、中山間、多面的事業では予算の限界があり、農業農村整備事業等の活用も考えられないか。

農林課長

多面的事業の長寿命化予算も減額される状況なので農業農村整備事業への要望もしていきたい。

町長

問題カ所が多数存在するなかにおいて、多面的、中山間で取り組めない所を拾い上げ課題解決に向け努力していきたい。



協働による溝さらえ

周辺部の遊休地の管理は

問

合併、中学校統合に伴い遊休化した運動

場、校舎跡地の雑草の繁茂が町周辺部の廃れ感を助長している様に思う。今後の対応は。

総務課長

今までは草が伸びた後の対応だったが、今後は単発的な管理ではなく、期間を管理する委託を考えていきたい。



奥田 公人 議員
Okuda Kimito



信号機の設置について

問

令和元年11月19日
午前7時35分ごろ、
あさぎり町岡原北の町道岡
原多良木線と、町道岡原免
田線の交差する交差点で、
上方面から来た軽乗用車が
横断歩道を渡っていた岡原
小学校の児童5人の列に
突っ込み、3人がはねられ
て重軽傷を負う事故が発生
した。この交差点は数年前
に道路拡張がなされ歩道の
整備も行われたが、JA岡
原給油所の改築によってA
TMが交差的近くに設置さ
れたため大変見通しが悪く

なり、交通事故が心配され
ていた。この交差点は、岡
原小学校、保育園児童及び
あさぎり中学校、高校生徒
が利用する重要な通学路で
あり、安全に横断するには
信号機の設置は不可欠であ
ると考える。信号機の設置は
警察署の管轄と聞いている
が、町としての対応や手続
きはどのような手段が必要
か。

町長

11月19日、残念な事
故が起きたわけで、
信号機があったならば防げ
た事故ではないかと思う。
県の財政の中で、信号機の
設置予算が少ないというこ
とは聞いている。先日政府
の大型補正予算説明の時に
他の市町村からも信号機の
数を増やして欲しいとの要
望があつていた。予算がつ
くと可能性が出てくると思
うので設置については子供
たちの安全上努力したいと
思う。

総務課長

これは要望によつて
設置がされるという
流れである。まず管轄する
警察署に町民もしくは町か
ら要望書を提出することに
なる。上申の機会は年一回
とされており、県公安委員
会で検討、現地確認等を行
い選定し設置がされること
になる。

問

町の方からも設置の
要望をお願いしたい。
通学路に関する場所なので
教育長の考えは。

教育長

私も週に2日3日は
ど朝巡回パトロール
をしているが、非常に交通
量が多くて、この交差点を
利用して学校に行く子供が

多いので、やはり子供の安
全等を考えた場合には信号
機の設置というのは大へん
重要なことと思っている。



町道岡原多良木線と町道岡原免田線の交差点

公共工事において 電子入札を導入する 考えは



溝口 峰男 議員
Mizoguchi Mineo

問 令和元年度の公共工事の発注は工事が72件、業務委託が29件余りある。

る。ここに係る職員や業者の費やす時間、費用は相当なものである。電子入札の導入の効果は業務の効率化、透明性、公平性の向上、不正行為の防止及び応札者の利便性の向上等があげられるが、町においても電子入札を導入する考えはないか。

町長 導入する方向で検討している。

総務課長 熊本県が一斉にシステムを構築しそれに参加する体制をとっている。

問 導入の時期はいつか。

総務課長 熊本県のシステム更新が令和3年10月と

予定されているので、その時点での導入の検討を進めている。

区長・分館長の役割りと職務について

問 区長と公民分館長の役割を今回、明確化した資料を作成したが、区

長・公民分館長会議において分かりやすく説明いたしたい。

4月から導入される会計年度任用制度移行に伴いどのように職務が変わっていくのか。

総務課長 区長は、特別職の非常勤公務員と位置づけられていたが、内容の見直しで業務委託で業務を所掌する業務を担っていた方向に変わる。よって、公職選挙法による制限はなくなるが、区長会で意見を出して確認する必要があると考える。

町長 公民分館の中には福祉委員会があり分館長をサポートして地域でいろいろな業務をしていた。健康寿命を延ばして、できるだけ元気な活動をやっていただきたい。今一番問題視されているのがフレイルと言われる方たちの対応であるが、私が今お願いしているSWCの活動を一番重点的にやっていたことに

なるが、その時に区長・分館長・福祉委員会の役割をきちんとして整理し分館長等の報酬も見直していかねばならないようになってくると考えている。

公共工事発注の平準化について

問 公共工事予算の平準化を図り建設現場の



年間通して公共工事の発注を

※1 フレイル^{おとろ}加齢に伴い筋力が衰え疲れやすくなり、家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。

※2 SWC-従来の健康・医療に関するアプローチのみならず、まちづくり・スポーツなど多様な要因に目を向け産官学の幅広い叡智を集めて問題解決する。



封筒から電子入札へ



永井 英治 議員
Nagai Eiji



食料農業農村基本計画の

本町の現状は

問

先日の新聞で、国の「食料農業農村基本計画」の中の食料自給率や農地面積の目標の達成見込みがないとの報道があっている。本町でも、大豆や麦の生産面積は、横ばいか減少傾向にある。その要因としては、大豆の収益性の問題や、麦については、収穫してから収益となる期間が約半年かかるという事が要因で、面積増加にはつながっていないと考える。そこで、町はこの現状をどうとらえているか、また、この現状

を国に対する意見・要望として取りまとめができないか。

町長

国の目標と生産現場の乖離については、農家の生産活動がいかに難しいか、また輸入品との競合等、農産物の価格が大きく左右していると認識している。こういう地方の現状については、どこに要望すればより効果上がるのかを考えながら精一杯要望していこうと考える。

問

鳥獣被害、特に鹿にについては今では平野部にも被害が出ている。対応策として、河川敷の敷などシカが住み着く状況をつくらないことが一番であると考えているが。

町長

現在、国の工事として、球磨川の浚渫工事に伴い樹木や竹藪の伐採を行っている。国や県の予算がつかないところは町の事業として取り組みたいと考える。また、県の竹材生産支援事業等の活用も考えて進めていきたい。

問

農家の規模拡大に伴う作業の省力化には、スマート農業が欠かせないと思うが、町の現状とこれからの支援策は。

農業委員 事務局長

8月に町内2か所でドローンの実演会を実施している。今年度実際に農業散布用ドローンを導入された農家もおられるので、今後も先進的なスマート農業の現状と、メリット・デメリット等の情報も紹介していきたい。

町長

AI等の活用も含めて、スマート農業には先駆的に取り組んでいきたい。

問

町独自の後継者の支援策は。

農林振興課 課長

近隣町村でもそれぞれの支援策があっている。本町でも、国の農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）に該当されない方々に対しての支援ができないか考えている。



平野部の鹿に荒らされた稲



市岡 貴純 議員
Ichikawa Takasumi

合併特例債の発行期限の

延長に伴う本年度の活用と 今後4年間の活用方針は

問

平成15年4月に合併し、15年間合併特例債を活用したまちづくりにも取り組んできた。合併市町村においては想定以上の少子高齢化、人口減少が急激に進み、様々な新しい課題が山積み、この15年間で十分な取り組みができたとは言われず、国が令和5年までの5年間の起債発行の延長を決定したが、本年度の合併特例債を活用しての事業内容と今後4年間の事業内容は。

町長

合併特例債は、新町の均衡ある発展、地域格差のない一体化を持てるために投資し、現在もインフラ整備、防災や住民福祉の設備に活用している。

企業財政課長

新町建設計画に載せ、10項目の予定事業を計画。発行可能額は130億円強。平成15年から30年まで、建設費36億円、基金造成24億円、計60億円を発行。残り67億円余りが発行可能であり、令和2年以降

(令和5年まで)も計画的に使用していく。

問

公共施設等管理計画の中で、利用・未利用にかかわらず老朽化している旧庁舎等大型施設の今後の計画は。

総務課長

旧深田中学校、深田原給食センターは除却の方針。旧深田中学校体育館、旧須恵村役場、旧須恵中学校、旧岡原村役場、旧上村役場においてもそれぞれ老朽化が進み、雨もり、外壁等の痛みが著しいが、現在も住民や企業等の利用もある。個別計画の中で慎重丁寧に検討していく。旧免田給食センターは、加工施設の用途として貸し付けの位置づけ。旧東庁舎は現在未使用で、耐震を有していない施設。これも個別計画で精査し判断していく。

問

今後早急に、次の世代に残すもの、除却(解体)するものを有利か



今後、検討を急ぐ施設等(写真は旧深田村保健センター)

つ期限のある合併特例債を活用し進めていく時期では。施設の除却や転用は、これをもって前倒しして考えていくのか。

町長

指摘のとおり。経年劣化が進み、再利用も相当な予算が要る。地域住民の希望も聞き、町の財政も考え方向性を出していく。一方では、魅力ある町づくりを構築する考えの中で、施設の活用の芽が出る

かもしれない。スピード感を持って、あの時何をして、たんだと言われないよう、一つ一つきちんと努めていく。

公共施設等総合管理計画

これまで高度経済成長期の中で公共施設の整備が進められてきましたが、これらの多くが老朽化し、大規模改修や建て替えが必要となってきました。本町においても次世代に負担を残さないために適切な規模とあり方を検討する為にH29年3月に策定し進めています。(詳しい内容は本町ホームページに記載されています。是非ご一読下さい。)



加賀山 瑞津子 議員
Kagayama Mitsuko

女性目線で防災備蓄品の充実を



液体ミルクを選択肢のひとつに



問 現在の災害備蓄品の種類・数量・保管場所とは。

総務課長 種類は多岐にわたっている。食糧については現在6,100食分あり、7,300食を目標としている。生涯学習センター(旧免田中跡)の備蓄倉庫に一括して備蓄している。

問 今年台風19号の時に堤防が決壊した。球磨川の堤防が決壊した場

合、須恵・深田地区への対応は。

総務課長 町としても分散備蓄の重要性は認識している。来年度予算計上を考えている。

問 岡原地区でも百太郎溝、幸野溝があり同様の問題を抱えている。早急に対応を。内閣府から「災害時における授乳の支援並びに母子に必要な物資の備蓄及び活用について」

の備蓄及び活用について」

出されているが、「液体ミルク」に関してはまだ認知度が低い。町の対応は。併せて備蓄品選定委員に女性メンバーはいいるのか。

健康推進課長 現在のところ周知等は行っていない。今後母子手帳交付の際や乳幼児健診時等で紹介していく。

町長 今地域防災マネージャー制度を活用し専門家を入れて準備中。その中で女性の意見を聴いていきたい。

戦没者追悼式の今後の在り方は

問 戦争平和について考

え伝えていく事は国民の義務。今後町民に広く参加いただけるような会の在り方について検討が必要では。

町長 一部を追悼式、二部を意見発表にするなど、広いテーマで平和の大切さ・有難さ、命の大切さなどについて考えてもらい発表する場にしたい。

ふるさと納税に体験型イベントの活用を

問 3月に「寄附金を活用した今後の事業展開と寄附者への報告」につ

ふるさと納税パンフレット



※1 スタンドアップパドルボード(SUP)はハワイ発祥のマリンスポーツで、サーフボードに似た板の上に立ち、パドルを漕ぎながら波乗りしたり海の上を散歩するといったことが楽しめる水上アクティビティです。SUPは体幹力が鍛えられるためエクササイズ効果があるとも言われており、女性にも人気のスポーツです。

※2 フットパスとは、イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い町並みなど昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】が出来る小径(こみち)【Path】のことです。イギリスではフットパスが国土を網の目のように縫い、国民は積極的に歩くことを楽しんでいます。近年、日本においてもさまざまな地域において、各々の特徴を活かした魅力的なフットパスが整備されています。

問 球磨川の流れの緩やかな所でのサップやフットパス等^{※2}の組み合わせで集客の目玉になるのでは。

町長 民間力の活用をどんどん出していく体制を考えたい。

いて質問したが、検討後今回パンフレットを作成いただいた。その中にマイ焼酎づくり体験オーナー制度が入っているが。

町長 マイ焼酎づくりは関係者の方々が長年取り組んでこれら即対応出来る制度だと思う。



皆越
てる子
議員
Minagoshi
Teruko



健康づくりは

問 「健康と幸福の町づくり」を掲げ町民一体

となつて取り組んでいるところではあるが、サロンの未実施地区と百歳体操の未実施地区及び今後の取り組みについては。

高年齢福祉課長 サロン2地区が未実施で百歳体操は19地区が未実施。

問 今後の計画は。

高年齢福祉課長 サロンについては啓発活動を今以上に充実させていく必要があると考えている。百歳体操普及については、サロンを実施されているところを中心に説明会を各地区行っていく。

問 サロンの補助金上限12,000円、一回2,000円の検討は。

町長 自身も区長時代に経験があるので、地区福祉的な仕事をされている人たちの意見も聞きながら前向きに検討をしてみたい。

問 体協の加入状況は。

教育課長 25競技の加入者は本年度891名で、20代が24%、40代50代が30%、60代以上が46%となっている。

問 各部大会助成金の状況は。

教育課長 大会を実施される際に体育協会より補助を行っている。今後も助成金については継続していく。

問 「ウォーキングで人生に活力というどりを」の実現に向けた取り組みと健康ポイントについて問う。

健康推進課長 ウォーキング大会は10年間ほど実施した中で、参加者も固定化し、ボランティアのスタッフの高齢化もあつて、中止とした。広報誌に春夏秋冬季節に応じた見どころを紹介しカラー刷りで広報誌に掲載した。今後、新たな健康ポイントの仕組みを検討して

いく。

問 実行委員は今でも継続してほしいという声のようだが。

町長 担当課・ボランティアの協力者の意見を聞きながら協議してみたい。

問 食生活改善推進員協会のレシピ集の配布状況と活用については。

健康推進課長 男性も作ったようで、レシピ集全部を作った人もいた。

問 作った感想は。

健康推進課長 当初200部。他町村からの問い合わせも多く200部追加し400部で対応しているが在庫がなくホームページを見てもらっている状況である。



広報あさぎり
H31.3月号より

特別委員会報告

町有地払い下げ及び、補助金の支出等に関する 調査特別委員会の中間報告

委員長 小見田 和行

- | | | | |
|-------|------|--------|---|
| 第 1 回 | 令和元年 | 6月14日 | 委員長、副委員長を選出。 |
| 第 2 回 | 令和元年 | 6月20日 | 今後の特別委員会の進め方について、委員の意思統一を行った。 |
| 第 3 回 | 令和元年 | 7月23日 | 敷地売却に対する不動産鑑定結果資料、工事に係る経過資料、補助金の支出根拠及び条例、規則について担当課より説明を受ける。 |
| 第 4 回 | 令和元年 | 8月19日 | 今回より、商工観光課、生活福祉課職員に対して、証人として出席をしてもらい提出書類の質疑を行った。 |
| 第 5 回 | 令和元年 | 9月 6日 | 2つの調査事項を並行調査では混乱を来しかねないので幼稚園工事に係る調査から進める事を決めた。 |
| 第 6 回 | 令和元年 | 10月11日 | 生活福祉課職員に対し証人として出席をもらい幼稚園新築工事に関する補助金支出に対して質疑を行った。 |
| 第 7 回 | 令和元年 | 10月21日 | 会計検査対象資料の確認。 |
| 第 8 回 | 令和元年 | 11月 1日 | 幼稚園理事長に証人として出席をもらい質疑を行った。 |
| 第 9 回 | 令和元年 | 11月11日 | 設計士に証人として出席をもらい質疑を行った。 |
| 第10回 | 令和元年 | 11月25日 | 幼稚園長に証人として出席をもらい質疑を行った。 |
| 委員会協議 | 令和元年 | 12月 3日 | 設計業者より届いた図面97枚のみで入札書作成に向け積算可能かを建設課担当者に意見を聞いた。 |

地域公共交通調査特別委員会

委員長 皆越 てる子

平成30年6月15日、議長を除く全議員で設置され、8回の特別委員会を開催し協議をおこなった。

平成30年度より、人吉球磨地域公共交通再編計画に伴ない、あさぎり町でも大幅な見直しとして、デマンド交通システムを導入し、デマンド交通に変更する取り組みとともに、地域公共交通特別委員会が設置された。

町の方針が当初予算2000万円で、高齢者のみのサービスではなく、利用料金を200円、乗降所31箇所とするデマンド交通という方向性が示され、全議員が同意した。

その後、町執行部による九州産交バス本社と3回の会議、町職員による運行調査も実施されたが、九州産交バス側と利用料金の合意が得られなかった為、利用料金300円として乗降所に須恵の「ちとせや」を追加した。

公立多良木病院は町外のため、除外することです承し、10月1日に出発式を行いスタートした。

最後の委員会では10月の利用状況は男性161名・女性297名合計458名の利用者登録であるとの説明を受けた。

今後利用者の増加に努めていただき、スムーズな運営ができることを願う。

常任委員会報告

総務文教常任委員会

○9月30日（月）

公民分館建設事業について

今井・永才区の当初建設費が300万5000万円の減額となったが、委員会では、地区負担が10%ということでは華美になりやすいので、今後の建設に当たってはその対応を取るよう要望が上がる。

町有地（旧上村へい獣処理場）の払い下げについて

太陽光発電事業への使用要望が上がっていることから払い下げについて説明を受ける。町は公募をかけ一般競争入札を行う。産廃処分場としての使用禁止、埋設物の処理等については契約条件に入れている。

○11月20日（水）

防災マネージャー制度について

人件費の一部が特別交付税の交付対象となるもので、本町も活用の方角で前向きに考えている。対象者は、防衛省・自衛隊の佐官級以上の退職者で町内外も視野に入れて検討する。

県指定文化財の現況視察調査

宮原観音堂（岡原宮麓）

全体的な経年劣化に加え、茅葺屋根の腐食が進んでいることから、屋根修理、全面のメンテナンスを次年度に計画。その他、才園古墳、鬼の釜古墳を調査。



宮原観音堂

建設経済常任委員会

○9月24日（火）

葉タバコ買い入れ視察（合志市JTリーフセンター）

今年度は葉タバコにとっては良い天候に恵まれ量・質共に良い成績だった。



合志市JTリーフセンター視察

○10月23日（水）

農地等災害復旧工事について

災害発生日7月1日、7月14日の梅雨前線豪雨。須恵阿蘇地区農地、屯所地区農道法面、深田仁王地区農地の復旧工事。農林振興課より、天子の水公園を適切に管理する事により地域住民に憩いと安らぎの場を提供する事を目的とする天子

の水公園を守る会規約について協議審議。

○11月8日（水）

有機センター管理委託について

堆肥製造設備・施設の経年劣化により施設の大規模な整備を実施し長寿命を図るもの。管理委託期間については10年。

○11月26日（火）

深田農産物処理加工施設について

これまであさぎり町ふれあい会加工グループが活用し味噌や饅頭を製造し、その運用益などにより施設の管理を行っていたが、会長より指定管理者申請辞退届が提出された。今後、施設利用に適した事業者等を募り、施設の活用を図りたいとの事であった。



天子の水公園

○10月9日（水）

子ども医療費助成方法
の変更について

県内では、現在45市町村中42市町村が現物給付制度を導入しており、昨年11月実施のアンケート調査では、現物給付制度への変更を希望する声が多く寄せられた。あさぎり町でも子育て支援をより一層行うため現物給付制度を取り入れたいという説明があつた。

○10月25日（金）

子ども医療費支払いに
関するあさぎり町医療
連携会議の結果報告に
ついて

国は償還払いが基本。8割が現物給付。等の意見が医師から出た。委員会の意見として、現物給付をどれくらい

の方が希望されているのか。高校生まで無料化、インフルエンザ予防接種の助成などいろんなパターンでアンケートが取れないか等の意見が出た。

○11月25日（月）
ふれあい福祉センター
改修について

カルチャースペース付近にシャワー室を設置・生活支援ハウスの左側にユニットバスおよび脱衣室を設置すると説明があつた。

子ども医療費助成方法
の変更に係るアンケー
ト調査の実施について

調査対象者は全世帯5,939世帯。中学三年生以下の子どもがいる世帯と中学三年生以下の子どもらいない世

帯に分けて調査する。調査票配布は令和2年1月中旬予定。回収日は1月下旬予定。費用として回収用郵送料14万9千円と、調査集計分析報告書作成委託料127万円。



「上第2保育園」と「あ
おぞら幼稚園」の統合
予定について

令和2年4月1日より上第2保育園とあおぞら幼稚園を統合し幼稚園型認定こども園としたいとの報告があつた。

一部事務組合報告

上球磨消防組合議会



○12月2日（月）

令和元年度第2回定例会が、12月2日に開催された。決算の認定1件、議案5件は原案通り可決、最後に一般質問が行われた。平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定について。

歳入総額

9億5,039万5千円。

歳出総額

8億3,765万9千円。

歳入歳出差引額

1億1,273万6千円。

繰り越し明許費

9,950万円。

実質収支額

1億3,233万6千円。

うち基金繰入金が

6,611万8千円。

議案第6号から議案第10号は、条例の改正と、職員の給与の改正に伴う補正予算。

一般質問では、多良木町選出の猪原議員が、職員の定数について質問され、災害発生時や救急出動時には、十分な人員は確保されていない、との答弁があつた。

熊本県後期高齢者医療広域連合議会報告

○11月12日（火）

熊本県市町村自治会館において開催され13議案及び報告1件、一般質問が行われた。

平成30年度の一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の内容は次のとおりである。

歳入総額は、2,906億1,121万円、歳出総額は2,797億2,369万円である。平成31年3月末現在、被保険者は28万人を超え今後も増加が予想される医療給付をどう抑制するかは引き続き大きな課題である。これに対応するため、レセプト点検の強化、ジェネリック医薬品の利用促進、病気の早期発見や重症化予防に向けた健康診査の推進、加齢により心身が衰えた状態（いわゆるフレイル）への対策等健康寿命の延伸に係る保険事業の更なる充実など医療費適正化に向けた取り組みが一層重要となっている。

公立多良木病院企業団議会

○9月20日（金）

第3回定例会では、医療機器の故障による買い替えと人事給与・勤怠管理システムと電子カルテシステムとの連携に係る費用1,560万円が追加補正された。

平成30年度決算認定では、病院、老健、健診3事業の合計で2億810万円の純損失となった報告があり、認定された。

11月18日開催の第4回定例会では、あさぎり町選出の小見田議員より、厚労省が公表した公立病院の再編リストや病院の将来像についての一般質問があり、大島企業長（病院長）からは、至急将来プランを作成して、開設者協議会との協議を始めたいとの答弁があった。



人吉球磨広域行政組合議会

○11月29日（金）

令和元年第4回定例会が開催され理事会代表理事より、定例理事会における主な審議内容等説明の後、平成30年度決算特別委員会委員長より、審議結果についての委員長報告があり質疑採決の結果、委員長報告の通り、全員異議なく原案の通り認定することに決定された。

続いて補正予算2件・条例制定、改正3件規約の変更1件が提案され、原案の通り可決し散会となった。



議場へきれいなお花をありがとうございます

第8回会議（12月会議）において、あさぎり町商工会女性部よりきれいなお花をいただきました。ありがとうございました。

\\聞かせて\\

町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

活気あるあさぎり町へ

一昨年10月に初孫が誕生し、毎日保育園の帰りに顔を見せに寄ってくれるのが祖父母、曾祖父母の楽しみの一つです。動作の一つ一つにハラハラしたり、手をたたいて喜んだり、子供一人を囲んで癒される毎日です。

最近では、子供の姿を見る事も少なくなり、子供達の声も聞こえなくなりました。

安心して出産、子育てが出来、安全に子供達が遊び回り、笑い声がする賑やかで元気なあさぎり町になって欲しいと思います。



深田地区（明廿）

田山 健裕さん

町政に期待

父の介護の為、あさぎり町に移り住み5年が経ちました。在宅介護は大変な時もありますが、いろんな方に支えられ、頑張り過ぎず続ける事が出来ています。感謝の気持ちでいっぱいです。今後、より一層少子高齢化が進み、深刻な問題になる事は言うまでもないと思います。お年寄りや子ども達が、安心して過ごせるような町であってほしいと思います。

それと、私は勿体無いと感じる事があります。あさぎり町には沢山の資源（たから）があります。歴史的資料もありますが、特におかどめ幸福駅には観光客が外国や全国から来られます。それを観光産業として活かさきれていない気がしています。交流人口を増やし、地域の活性化に繋がって頂きたいです。

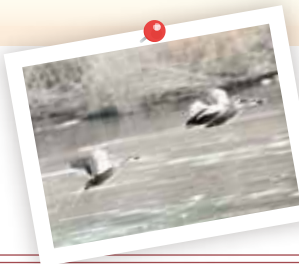


上地区（塚ノ脇）

小田 美華子さん



このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



■表紙の写真について

表紙の写真は、自然観察クラブ犬童賢二さんの作品「冬の免田川」です。

編集後記

明けましておめでとうござい
ます。本年も「議会だより」を
町民の皆様により解り易くお
届けしていくよう努力して参
りますので、宜しくお願い致し
ます。

さて、「議会だより」の一般質
問の内容は、文字数の制限で要
約してあります。本来なら、全
文を掲載する事が全議員の望
みです。詳細につきましては、
インターネットの議会配信、あ
るいは議会議事録（議会事務局
にて閲覧可能）をご覧いただ
ければ幸いです。

（岩本 恭典）

編集・発行責任者

議長 徳永 正道

広報調査特別委員会

委員長 久保 尚人
副委員長 難波 文美
委員 溝口 峰男
豊永 喜一
小出 高明
岩本 恭典



★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等で伺いして取材します。

議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

